

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 地域連携推進センター ニュースレター 〈第57号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:大崎優

## はじめに

### 平成27年度地域協働ネットワーク会議開催報告

平成27年度地域協働ネットワーク会議が2月20日(土)13時より約120名の参加者を迎えて開催されました。

今年度は「学生が語る「地域に関わる」ということ」と題し、高知大学から学生団体「中山を元気にし隊」、高知県立大学から「COME☆RISH」(コメリッシュ)、高知工科大学から「さめうらラバーズ」による事例報告、事例報告団体と他7団体によるポスターセッション、事例報告を行った3団体の学生と支援を行っている大学関係者および受入地域の住民の3者による分科会が開催され、来場者からも活発な質問が行われました。

最後に高知新聞社地域報道部部長竹内誠氏より、大学生が地域に関わるということは、若者として地域を支援する事も重要であるが、大学生である以上、専門性を活かした関わり方も行っていくべきであるとの講評をいただきました。

高知における協働ネットワークの構築を目的とする本会議は、来年度も開催予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

## 目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. カツオフォーラム in 気仙沼 開催報告

Topic2. 平成27年度高知大学・高知市

共催公開講座の報告

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. 土佐まるごと社中(TMS)

第19回定例会 in 四万十町 開催報告

p4 知的財産部門

Topic1. DSANJ疾患別商談会 参加報告

p5 地方創生推進部門

Topic1. 高知人文社会科学会シンポジウム

「『魚梁瀬森林鉄道』を通じた地域再考と地域振興」  
開催案内

## Topic 1. カツオフォーラム in 気仙沼 開催報告

地域連携推進センターと高知県黒潮町との連携により運営する日本カツオ学会は、「カツオフォーラム in 気仙沼」を、気仙沼市実行委員会にご尽力いただき、約 250 名の参加者のもと盛大に開催しました。

日時:平成 28 年1月 30 日(土)13 時 00 分～17 時 30 分

場所:サンマリン気仙沼ホテル観洋

主催:気仙沼市カツオフォーラム実行委員会、日本カツオ学会

詳細なプログラム等につきましては、前号のセンターニュース、若しくは、以下ホームページをご参照ください([http://www.katsuo-gakkai.jp/event/2015/20151207\\_katuo\\_kenenuma.html](http://www.katsuo-gakkai.jp/event/2015/20151207_katuo_kenenuma.html))。

気仙沼市は 19 年連続でカツオの水揚げ量日本一を誇る地域であることから、近年の国内におけるカツオの不漁傾向が大きな問題として取り上げられました。この問題に対し、フォーラム中で国際的な資源管理の必要性が挙げられ、気仙沼宣言として採択されました。

フォーラム終了後の交流会において、気仙沼宣言は、気仙沼市の 菅原 茂 市長やカツオ学会の 若林 良和 会長、高知県黒潮町の 大西 勝也 町長はじめ、全国の関係機関から、農林水産省の 森山 裕 大臣に直接手渡されました。



## Topic 2. 平成 27 年度高知大学・高知市共催公開講座の報告

高知大学・高知市共催公開講座が平成 28 年2月 12 日(金)および2月 26 日(金)に高知市総合あんしんセンターにて開催されました。本講座は本学と高知市の連携事業の一環で実施した高知市総合調査に基づく公開講座で、5回目の開催になります。本年度は講座内容を高知市の職員向けとして開催されました。

2月 12 日は地域協働学部中澤純治准教授より「経済統計でみる高知市経済のすがた」と題し、高知市経済の弱み、強みを統計に基づき客観的に確認したのち、弱みを克服し、強みを強化する方策について課題提起がなされました。40 名を超える参加者が集まり、高知市の経済状況や強み・弱みについて再確認が行われました。

2月 26 日には理学部松岡裕美准教授より「次の地震に備えるために、過去の地震を読み解く」と題して講座が行われる予定となっています。

## Topic 1. 土佐まるごと社中(TMS)第19回定例会 in 四万十町 開催報告

第19回土佐まるごと社中定例会 in 四万十町を平成28年2月20日(土)15時より四万十町役場東庁舎1階多目的ホールにて、18時より交流会が役場近くの「コールマン」にて開催されました(共催:地域連携推進センター)。

まず、中尾四万十町長からのご挨拶の後、基調講演(1)で岩手県政策地域部地域振興室 定住・交流促進専門員、岩手大学名誉教授、INS(岩手ネットワークシステム)事務局、高知大学客員教授清水健司先生による基調講演「岩手県における産学官民連携による地方創生への取り組み」を、基調講演(2)で高知県産学官民連携センター岡崎拓児氏による「高知県産学官民連携センター(ココプラ)の取り組み～土佐MBAを中心に～」を講演いただきました。その後、8名の方がプレゼンを実施しました。

1. 立岡知樹氏(四万十町地域おこし協力隊)「協力隊の活動を振り返って」
2. 斉藤香織氏(日本防災植物協会 事務局長)「防災植物ってなあに？」
3. 梶原弘資氏(土佐打刃物黒鳥)「土佐打刃物黒鳥について」
4. 渡邊光明氏(株式会社エコロジー四万十)「協力隊から民間へ～視点が変わり気づいた大切なこと～」
5. 佐藤 暢氏(高知工科大学)「学生による外国語観光案内アプリの開発について」
6. 濱口無双氏(黒潮町缶詰製作所)「黒潮町缶詰製作所の取り組み」
7. 渡邊基文氏(高知県中小企業家同友会)「社員さんが自主的に働く組織作り」
8. 山脇光章氏(四万十町)「四万十町人材育成プログラム始動！」

プレゼン大会終了後の交流会では、地元の方と高知市から参加された方の中で活発な意見交換が行われました。

【参加者数】 プレゼン大会:35名

なお、TMSは高知大学が事務局となり、毎月、第2水曜日の夜、産学官民の交流活動を「ココプラ」にて実施しております。



## Topic 1. DSANJ疾患別商談会 参加報告

1月28日（木）と29日（金）に、大阪産業創造館において「DSANJ疾患別商談会」が開催されました。

DSANJとは Drug Seeds Alliance Network Japan（創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク）を略したもので、創薬シーズ（創薬）・基盤技術（創薬に使われる技術）・バイオマーカー・診断薬・試薬の研究・開発成果を、独立してその情報を収集、蓄積した上で日本の製薬企業に紹介し、日本国内での創薬活動を促進するためのプログラムで、大阪商工会議所及び大阪医薬品協会が主催し、研究者と製薬企業との共同研究に向けたミーティングを実施するものです。

今回、高知大学から医学部附属病院中央診療施設光学医療診療部谷内恵介特任准教授が参加し企業との面談が行われ、今後の共同研究等に向けて活発な議論がなされました。

DSANJ HP : <https://www.dsanj.jp/>



DSANJ疾患別商談会ホームページより

## Topic 2. 知的財産部門主催「知的財産セミナー」開催報告

知的財産セミナーを平成28年2月18日（木）18時30分より四万十町役場東庁舎1階多目的ホールで開催しました。

今回のセミナーは「出前公開講座 in 四万十町」の一つとして行われ、下方知的財産部門長からブランドと知的財産の関係や知的財産全般についての講演及び大学の知的財産の活用事例や注目技術の紹介を行いました。また、講演後は希望者に対する相談会も行われ、知的財産に関する相談に対応しました。



Topic 1. 高知人文社会科学会シンポジウム

『魚梁瀬森林鉄道』を通じた地域再考と地域振興」開催案内

平成 27 年 8 月に高知大学と安田町の連携協定を踏まえて、地域連携推進センター所属教員が本学人文社会科学部門教員と安田町地域おこし協力隊員の方々とともに、「林鉄と暮らし」をテーマとした内容で高知人文社会科学会（事務局：高知大学人文学部内）に研究チームを立ち上げました。以来、「中芸地区 森林鉄道遺産を保存・活用する会」等から多くのご支援を賜り、四国森林管理局の関係者、地域住民の皆さまから当時の貴重なお話をうかがい収集・記録してまいりました。

このたび、第 1 回成果報告会として、安田町をはじめ中芸 5 か町村、さらには関係諸団体のご協力を得て、「『魚梁瀬森林鉄道』を通じた地域再考と地域振興」と題するシンポジウムを、3 月 5 日（土）に安田町集落活動センターにおいて開催させていただくことになりました。

期間中は、魚梁瀬森林鉄道ジオラマ展や「森林鉄道の遺構を歩く」というテーマのエクスカージョンも開催される予定です。皆さまぜひご参加ください。

日時： 平成 28 年 3 月 5 日（土）10 時 30 分～17 時 00 分

※エクスカージョンは 3 月 6 日（日）開催

会場： 集落活動センターなかやま（高知県安田町正弘 1538）

詳細はこちらをご覧ください。http://www.kochi-coc.jp/info/dtl.php?ID=780

※本事業は、「平成 27 年度学生の県内定着または雇用創出に係る研究経費」の成果の一部です。（研究課題：『生活史を基調に安田町集落活動センターを魚梁瀬森林鉄道保存・活用の拠点として整備し中芸 5 ヶ町村の観光雇用を創出・拡大するための研究』）

Event poster for the symposium. It features a collage of images related to the fish beam forest railway, including a steam locomotive, a bridge, and a forest. Text includes the title 'むかし 魚梁瀬森林鉄道を通じた地域再考と地域振興', the date '2016年3月5日', and the venue '集落活動センターなかやま'. It also lists the organizing committee and sponsors.

Informational page for the symposium. It contains the title '魚梁瀬森林鉄道を通じた地域再考と地域振興', a detailed description of the event, and contact information for the organizing committee. It also includes a small program schedule.

Event information page. It features a section for '魚梁瀬森林鉄道ジオラマコーナー' (Fish beam forest railway diorama corner) and '高知の森林鉄道一展示と地域交流一' (Highland forest railway exhibition and regional exchange). It provides dates, times, and contact details for the event.